

令和5年度 東北農政局国営事業技術検討会（事前評価） 議事概要

1 日 時：令和5年7月14日（金） 15:00～17:00

2 場 所：仙台合同庁舎A棟7階会議室

3 対象地区：国営かんがい排水事業「山王海葛丸」地区

4 委 員：飯田 俊彰 岩手大学農学部食料生産環境学科 教授
島谷 留美子 株式会社東北地域環境研究室 専務取締役
菅原 紋子 有限会社ファーム菅久 常務取締役
角田 育 東北大学大学院農学研究科 教授
千葉 克己 宮城大学事業構想学群 教授

5 議 事：

東北農政局国営事業技術検討会（事前評価）を開催し、令和6年度事業着手予定地区である国営かんがい排水事業「山王海葛丸地区」について、事前評価案を審議した。

質疑応答の概要は以下のとおり。

（委 員）関係機関との協議の評価が「B」となっている理由は何か。

（農政局）小水力発電施設の建設に当たって、電力側と系統連系接続型の確認等の調整を行ったところであるが、今後、詳細な図面や発電量等を明確にした段階で本格的な協議に臨むことにしており、「B」判定としている。

（委 員）現時点で、調整を行ったにも関わらず、それでもなお評価が「A」にならないということであれば、判定基準を見直すべきではないか。なお「A」にするべきということではなく、努力しても「A」にならないという判定基準を見直した方が良いのではないかという意見である。

（委 員）地域経済への波及効果が1,013千円/ha・年で評価が「B」となっている理由は何か。

（農政局）チェックリスト判定基準表にもあるとおり、本評価項目は1,040千円/ha・年以上の場合は評価が「A」となるが、本地区の場合は若干下回ったため評価が「B」となっている。

（委 員）営農推進体制・環境の評価指標⑤輸出事業計画について、説明では肉牛が対象とのことだが、牛肉以外の輸出計画はないということか。

（農政局）岩手県においては、米、リンゴ、肉用牛という3本柱で輸出計画が認定されている。

しかし、本地区内ではリンゴや米については受益地内では取組みがないことから対象外としている。

6 技術検討会の意見

各評価項目については、適切に評価されていると判断される。また、本検討会で出された意見については、今後の事前評価のとりまとめに反映させること。